

8月の野菜の見通し

令和2年7月31日現在
山形県東京事務所

区分 品目	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		コメント
	前年実績	平年比 見込	5カ年 平均	前年実績	前年比 見込 (%)	5カ年 平均	前年 入荷量※ (t)	前年 占有率 (%)	
だいこん	8,236	平年並 み	8,743	95	105%	107	0	0.0%	北海道・青森県産の生育は概ね順調。8月上旬は入荷数量が増加し相場は弱含み、中旬は旧盆で出荷休みもあって減少。全体量は前年並み、平年よりやや少ない。単価は前年より高いが平年よりやや安い。
キャベツ	16,671	平年並 み	16,537	100	95%	91	0	0.0%	群馬県、岩手県産中心の入荷。両産地とも雨が多く、日照不足で品質不良が懸念される。数量は前年・平年を下回り、単価高だが、業務需要の低迷から平年と比べて若干高い程度。ただ、天候の影響次第で更なる高値になることもあり得る。
ねぎ	4,160	平年並 み	4,050	276	116%	327	160	3.8%	茨城県を中心に北海道、青森県、山形県産等入荷。8月上旬は北海道、東北産の数量が増加し、相場は弱含み。中旬は茨城県産がピークを過ぎて減少するが、下旬は北海道、東北産が順調に出荷。全体量は前年・平年並み、単価は安かった前年以上、平年並み。
きゅうり	8,375	やや少 ない→ 平年並 み	8,174	277	126%	291	571	6.8%	東北産(福島県、岩手県、秋田県等)中心の入荷。長雨、日照不足から数量は少ないが、梅雨明けと共に露地作の増加が見込まれる。月前半は数量が安定するが、後半にピークを過ぎると、樹が弱いこともあり数量減少が予想される。全体量は前年・平年を若干下回る。単価は前年・平年の2割以上高い。
なす	3,985	やや少 ない→ 平年並 み	4,137	315	106%	290	11	0.3%	群馬県、栃木県、茨城県産中心の入荷。長雨の影響から品質不良が散見される。梅雨明けと共に数量が増加すれば価格は落ち着くが、全体量は前年・平年を下回る。単価は平年の1割以上高い。

8月の野菜の見通し

令和2年7月31日現在
山形県東京事務所

区分 品目	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		コメント
	前年実績	平年比 見込	5カ年 平均	前年実績	前年比 見込 (%)	5カ年 平均	前年 入荷量※ (t)	前年 占有率 (%)	
トマト	9,433	平年並 み	8,965	245	135%	315	250	2.7%	北海道、青森県を中心に、群馬県、岩手県産等の入荷。長雨・日照不足の影響は、他の果菜類よりも遅れて7月下旬に現れ、一時不足感が生じた。北海道産は影響が少なく、8月上旬は数量増加。各産地とも着果不良の段があるとみられ、中~下旬には減少も予想される。全体量は前年を下回るが平年並み。単価は安かった前年の3割高く、平年と比べてやや高い。

引用資料:「東京都中央卸売市場における野菜の品目別取扱実績」(青果物情報センター)、「野菜の生育状況及び価格見通し」(農林水産省)、「野菜の入荷・市況見通しについて」(東京青果株)

入荷量について:平年並とは、平年との比率が80%以上、120%未満であることを示す。「0」はラウンドして1tに満たない入荷があったもの。「-」は本県のデータがないもの(入荷がないか、又は少なかったためにその他の産地に含まれる)